学校だより　　学校スローガン「自ら考え、判断し、動く有中生！」

有家中だより No7

令和８年１０月１９日
南島原市立有家中学校
校長　本　多　洋　二

駅伝競走での頑張り

10月６日（火）に南島原市駅伝競走が雲仙市、大村市、南島原市合同で、諫早市トランスコスモススタジアムで開催されました。絶好の駅伝日和で、暑くもなく、寒くもない、さわやかな気候でした。生徒たちは、全区間で自己ベストのタイムを出そうと、本当によく頑張っていました。前日に1年生、2年生を学級閉鎖する中、練習もできない状況でしたが、個人練習をするなど、よく取り組んでいました。当日、走らなかった生徒が、走り終えた生徒を笑顔で迎え、頑張りを共に讃えている姿に仲間を思う気持ち、チームとしてのまとまりを感じ、目頭が熱くなりました。

結果は、男子が4位、女子が6位でした。2区の飛永啓志くんが、見事、区間賞を取りました。当日、走った生徒も応援に回った生徒も精いっぱい頑張っていました。



＜３市一斉にスタートを切る女子選手＞

自分を磨き上げる１０分間！(掃除時間)

有家中では自問清掃（無言清掃）に取り組んでいます。掃除時間の１０分間、学校をきれいにするだけでなく、次の三つの心を磨き上げ、自分を成長させる時間にしてほしいと思います。

１　我慢する心

しゃべりたくても我慢し、人の迷惑にならないよう取り組みます。

２　人の気持ちを汲む心

共に掃除する友だちの気持ちを汲みながら協力して取り組みます。

３　気づきの心

汚れているところを見つけ、最後の１分まで取り組みます。



＜赤い羽根募金活動を行う有中生徒会メンバー＞

去る１０月１０日（土）に赤い羽根募金活動をＡコープ有家支店前で実施しました。多くの市民の方々に協力していただきました。



＜英語で意見発表をする２人努力賞を受賞＞

去る９月２７日（日）西有家町のカムスで南島原市グローカルスピーチフェスが開催され、本校からは●●●くんと●●●さんが出場しました。流ちょうな英語で意見発表していました。発音もよく、上手でした。

「命の学習」

１０月１３日・１４日に赤ちゃん抱っこ体験を実施しました。赤ちゃんとの触れ合いを通して、命の尊さを学びました。首が座っていない生後２か月の赤ちゃんもおり、扱い方、抱き方の難しさを体験していました。生徒たちは緊張の中、笑顔でした。良い学びをしていました。９組の赤ちゃん親子に参加していただきました。




＜ドキドキしながら赤ちゃんを抱っこする３年生＞




<食材についての話、お礼の言葉を述べる２年生>

◎栄養教諭の先生が来られて、給食について、食材や栄養の成分について話をされました。生徒たちは真剣に聞いていました。

１０月・１１月の主な行事

＜１０月＞

１３日（火）１４日（水）赤ちゃんふれあい
２２日（木）命の学習（３年）
１６日（金）・２２日（木）歌声交換会(各学年・縦割)
２７日（火）　合唱コンクール
２９日（木）　薬物乱用防止教室（２年）
２９日（木）～１１/６（金）３年三者面談

＜１１月＞

２日（月）～６日（金）３年三者面談
１３日（金）　研究発表会
２４日（火）～２６日（木）２年修学旅行

＜１２月＞

１日（火）　生徒会役員改選選挙
９日（水）　避難訓練
１０日（木）　学年ＰＴＡ（１・２年）
１０日（木）　人権集会
１８日（金）　生徒集会
２３日（水）　生徒会役員任命式・役員引継ぎ式
２４日（木）　２学期終業式

※あくまでも予定です。今後、変更する場合は、早めに連絡します。

ブレークコーナー

自分の考えや、人の受け売りです。気軽にお読みください。

『志・目標を持つこと』

こんな話がある。一人の男が森の中で道に迷った。彼は自分の力に自信があったので、少しも不安や恐怖を感じることなく、ひるまずに歩き続けた。森は広くても果てしないものではない。しかし、何日歩いてもさまよい続けるばかりだった。男は立ち止まってふと見ると、最初に迷った場所だった。男は座り込んでしまった。また、別の男も森に迷い込んだ。この男はじっくり考えた。そして、空を見上げて目標の星を見つけた。その星を頼りに方向を決めて歩いた。男の心にはいつも目指すべき星が照らされていたので不安は感じなかった。星が何かをしてくれたということではない。星は男を照らし、男はそれを道しるべとして歩き続けたのである。

生徒の皆はこの話から何を学び取るだろうか、迷ったときや苦しいときに見上げる星というのは、皆にとって何だろうか。「志」とは「自分が達成を目指している目標」である。その志、目標こそが、迷ったときや苦しいときに見上げ、皆を助け導いてくれる星ではないだろうか。